

取扱御説明書



この度はJenimoをお選びいただき、ありがとうございます。



Jenimoでの施術をする前に必ず、こちらの御説明書をお読みください。

メーカーの免責事項

ここのドキュメントの情報は、予告なしに変更される場合があります、ベンダー側の責任を表すものではありません。このドキュメントの特定の目的に対する品質、正確性、または適合性に関して、明示または黙示を問わず、いかなる保証 または表明も行われません。いかなる場合も、製造者または認定販売業者は、この製品またはドキュメントの使用または使用不能に起因する直接的、間接的、特別、偶発的、結果的な損失または損害について、そのような損害の可能性について知らされていたとしても、責任を負いません。

ご使用にあたっての注意事項

本製品「業務用脱毛機 ジェニモ」は、美容目的で設計された機器であり、医療機器ではありません。そのため、本製品は医療行為を目的とした使用はできません。また、医療上の診断、治療、予防を目的とした機能は有してありません。

本製品をご使用の際は、付属の取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。使用方法や設定を誤ると、お客様の満足いただける結果を得られない可能性があります。

目次

第 1 章 IPL・SHR・フェイシャル機器の紹介	5
1.1 治療の原理.....	5
1.2 デバイス構造.....	5
第 2 章安全性とコンプライアンス	7
2.1 お客様の安全.....	7
2.2 ビーム反射.....	7
2.3 安全上の注意.....	7
2.4 電気の安全性.....	7
2.5 防火.....	7
第 3 章インストール手順	8
3.1 アクセサリーリスト.....	8
3.2 設置条件.....	9
3.3 ハンドルの取り付け.....	9
3.4 冷却水タンクへの充填.....	10
3.4.1 マシンの背面.....	10
3.4.2 冷却水を注入する手順.....	11
3.5 電源の接続.....	12
3.6 電気漏れ注意.....	12
第 4 章操作手順	13
4.1 施術者の条件.....	13
4.2 安全な操作.....	13
4.3 検査.....	13
4.4 特定の機能.....	13
4.5 画面操作.....	14
4.5.1SHR モード.....	15
4.5.2IPL モード.....	17
4.5.3E-light モード.....	18
4.6 治療操作.....	20
第 5 章機械の操作	21
5.1 施術に関するお客様へのお知らせ.....	21
5.2 施術後の注意事項.....	21
5.3 施術中の症状.....	22
5.4 治療できない対象.....	22

第 6 章 IPL・SHR・フェイシャルマシンのメンテナンス	22
6.1 日常的な清掃方法	23
6.2 漏電防止ボタンのテスト	23
6.3 精製水の交換	24
6.4 輸送、保管、移動.....	24
6.5 トラブルシューティングガイド.....	25
6.5.1 マシンが起動しない	25
6.5.2 機械を始動したときの水循環が異常である.....	25
6.5.3 ボタンを押しても照射されない	25
6.5.4 エネルギーが弱くなるか、出てくる光がない.....	25
お問い合わせ	26

第1章-IPL・SHR・フェイシャルマシンの紹介

1.1 治療の原則

•IPL

本製品のIPL機能は、美容分野で広く用いられる光エネルギー技術を採用しています。お肌にやさしいパルス光を照射することで、美容ケアの一環として、毛の成長を抑制するサポートやお肌の引き締めを目指したケアが可能です。日々のスキンケアをより充実させたいサロン向けに設計されています。

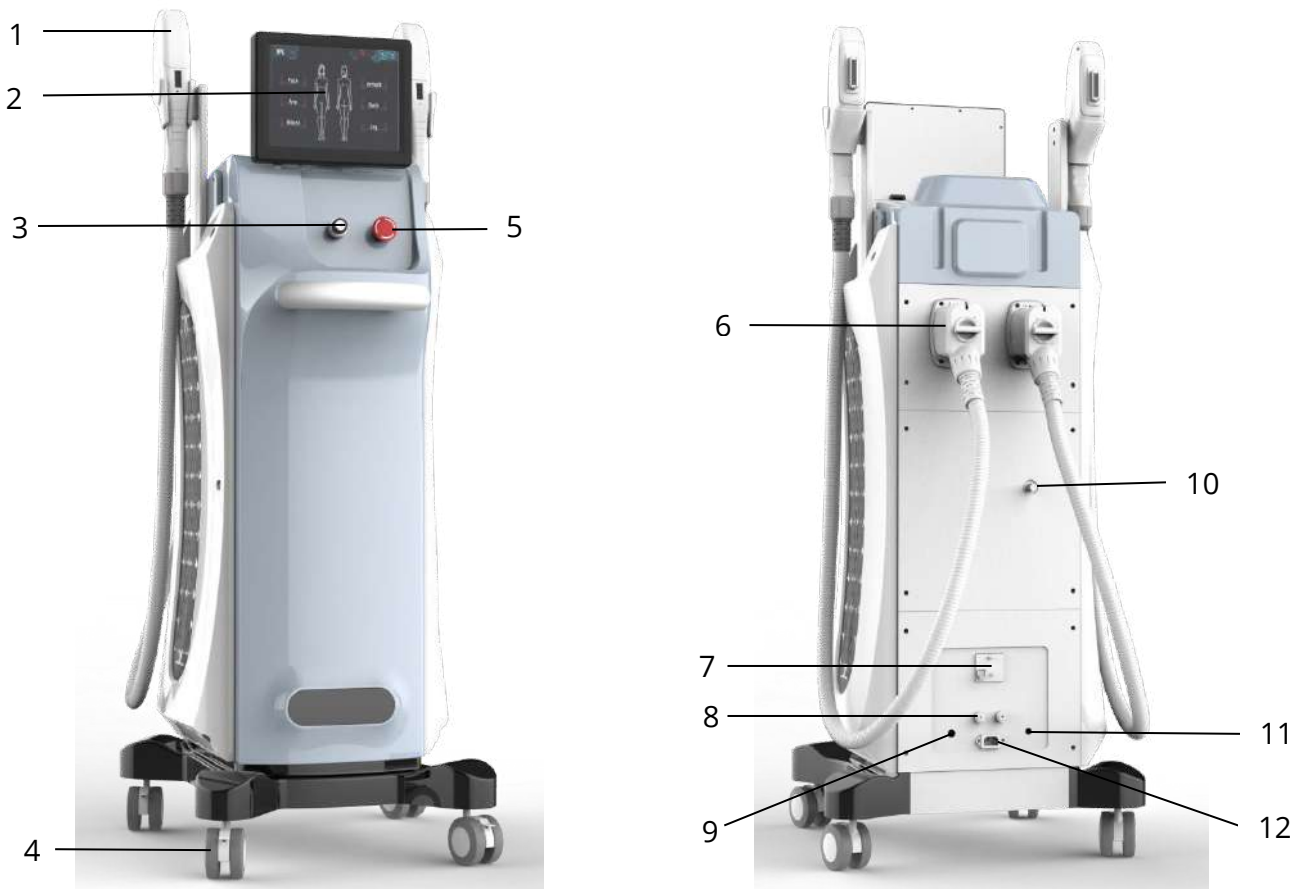
•SHR

SHR機能は、低エネルギーの光を連続照射することで、美容効果を促進する最新技術を採用しています。特に、敏感なお肌にもやさしいアプローチが可能で、ムダ毛のケアをより快適にサポートします。SHR方式により、広範囲のケアが効率よく行えます。

•フェイシャル

フェイシャルモードは、スキンケアを目的とした光エネルギーを活用し、お肌の質感を整える美容ケアを提供します。特定の波長の光を使用することで、お肌の健康的な印象をサポートし、日常の美容習慣をワンランクアップさせるお手伝いをいたします。

1.2 デバイス構造



<ol style="list-style-type: none">1. ハンドピース2. タッチスクリーン3. キースイッチ4. キャスター5. 非常停止ボタン6. ハンドピースコネクタ	<ol style="list-style-type: none">7. 安全装置8. ヒューズ9. 交換時の排水口10. 給水口11. 満水時の排水口12. 電源コネクタ
---	---

第2章-安全性とコンプライアンス

2.1 お客様の安全

お客様の安全は、施術者の習熟度、お客様自身の相談、正しい皮膚カウンセリング、および適切な治療室によって確立されます。担当施術者は、この機械を使用する際のすべてのリスクをお客様にあらかじめお知らせする必要があります。お客様は、治療中に目を保護するために、保護メガネなどを着用するように指示する必要があります。

2.2 ビーム反射

危険につながる可能性のある光の反射を回避するために、次の最小限の対策を講じることをお勧めします。

- ◆窓やシャッターは無反射である必要があり、高出力の光を使用する場合は防火が必要になる場合があります。
- ◆壁、天井、付属品は、鏡面反射を減らすために、明るい色のマットペイントで塗装する必要があります。
- ◆ガラス付きのキャビネットなど、反射面の使用は避けてください。
- ◆必要に応じて反射面を必ず覆ってください。
- ◆機械の周りは清潔に保ってください。アクセサリや時計などを取り外します。
- ◆施術室の照明は、施術者が皮膚の反応を観察できる程度の明るさが必要です。

2.3 安全上の注意

- ◆ハンドルを掃除するときは、必ず電源を切ってください。
- ◆治療しない部分には絶対に光を当てないでください。
- ◆非常停止ボタンは、緊急時にデバイスを停止するために使用されます。非常停止ボタンを押した後、キーを反時計回りに回してデバイスの電源を切ります。
- ◆非常停止ボタンを矢印の方向に回すとボタンが戻ります。

2.4 電気の安全性

安全に使用するために、オペレーティングシステムの定格電圧は110V、最大入力電流は15Aです。本機には安全装置が装備されています。電気漏れが発生すると、機械は自動的に停止します。

2.5 防火

- ◆Jenimoは熱エネルギーを生成します。
本機器の近くでアセトンやアルコールなどの可燃物を使用しないでください。
- ◆アルコールベースの製品を使用してデバイスを消毒する場合は、操作前にアルコールが完全に蒸発していることを確認してください。
- ◆可燃性および爆発性の物体、麻酔薬、薬物、アルコール、ガスなどは、治療室から取り除く必要があります。

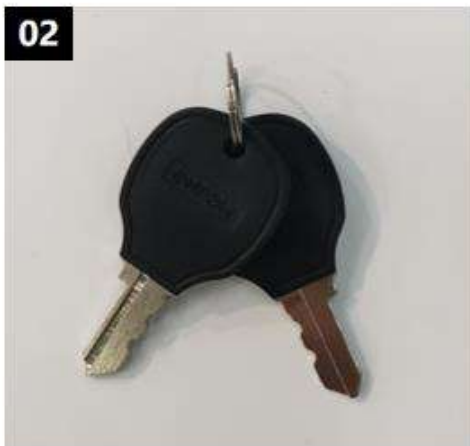
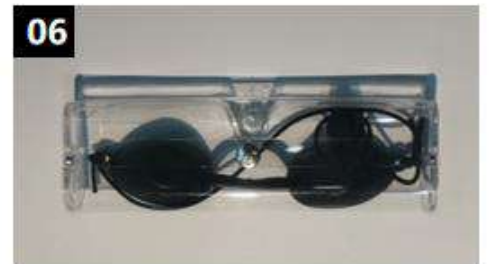
第3章-インストール手順

インストールのプロセスは次のとおりです。

- ◆機器の開封と内容の確認。
- ◆部品を組み立て、すべての接続がしっかりと固定されていることを確認します。
- ◆水タンクには精製水のみを入れてください。
- ◆電源ケーブルを接続します。

3.1 アクセサリーリスト

ユニットを開封し、すべての梱包材を取り除き、損傷がないか確認します。
ユニットが損傷している場合は、取り付けを続行しないでください。



1. レーザーメガネ	5. 電源ケーブル
2. キー	6. ゴーグル
3. リング	7. ヒューズ
4. 漏斗付きホース	

重要な注意: 安全な保管のため、および保証、返品の場合に備えて、すべてのパッケージを保管してください。
許可なく機械を開け、分解をすることは禁じられています。

3.2 設置条件

以下の条件に従って機器を設置します。

- ◆治療室温: 10°C~30°C
- ◆相対湿度: ≤75%
- ◆空気圧: 860-1060hpa
- ◆所要電力: AC220v±10%; 50Hz±2%; AC110v±10%; 50/60Hz±2%
- ◆水: 精製水

3.3 ハンドルの取り付け

ハンドルを取り付ける際の画像ごとの手順です。



矢印で示されているように、ハンドルとコネクタの位置を合わせます。



ノブを矢印の方向に締めます。



写真のように2つのハンドルを取り付けます。

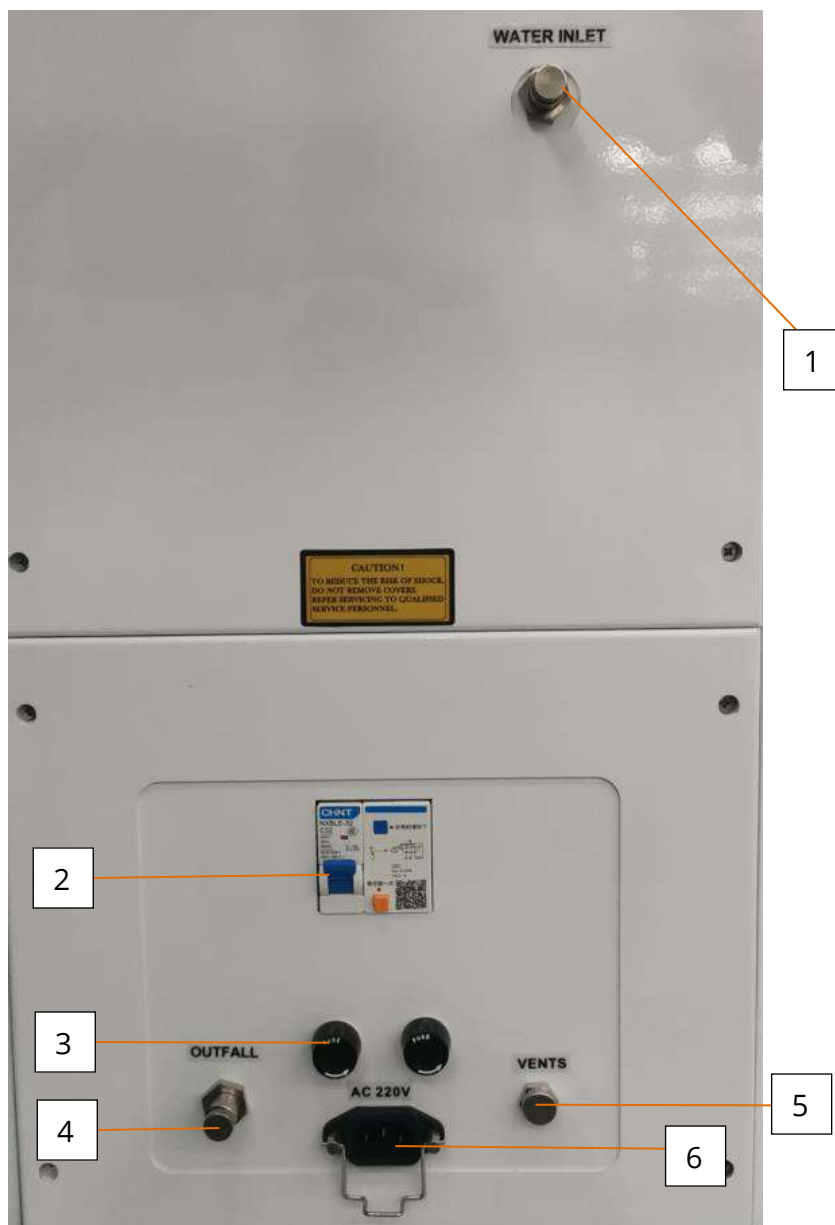
3.4冷却水タンクへの充填



注意:精製水が全く入っていない状態や、十分に入っていない状態での施術は決して行わないでください。

3.4.1マシンの背面

機械の背面の写真



1. 給水口-ホースを給水口に取り付けて、機械に水を充填します。
2. 安全装置-主電源スイッチです。
3. ヒューズ-機械の内部故障による重傷を避けます。
4. 交換時の排水口-機械を空にするときに水が出てきます。
5. 満水時の排水口-タンクが満タンの際に余分な水が出てきます。

6. 電源コネクタ-主電源ケーブルはここに接続します。



注意: 通常の水には不純物があるため、精製水をお勧めします。
通常の水を使用すると、以下のような問題が発生します。

- ◆水道管が詰まる危険性があります。
- ◆ハンドルの破損の可能性があります。
- ◆エネルギーを低下させます。
- ◆すべての保証を無効とします。

3.4.2冷却水を注入する手順



ステップ1. 給水口と満水時の排水口のキャップを外し、排水口の下に水容器を置きます。



ステップ2 漏斗付きホースの柔らかい方の端を給水口に接続し、水を機械に注ぎます。
精製水を漏斗に 慎重に注ぎます。
漏斗を機械より上に持ち上げると、注入しやすいです。



ステップ3。水は排水口から流れ出ます。これは、タンクが満水であることを意味します。



ステップ4。給水口と排水口のキャップを締めます。

3.5電源を接続します



電源コネクターの一方を機械の背面に接続し、もう一方を主電源コンセントに挿入します。

3.6安全装置



オフ



オン

電源コネクターが接続されたら、安全装置を上げると、機械が使用できます。

注意: 機械の電源がオンになったら、水が5分間循環させてから、予備燃焼モードに入ってください。

第4章-操作手順

4.1 施術者の条件

- ◆施術者は、機械を使用するために必要な専門知識を有し、地域および国の法律を遵守し、トレーニングする必要があります。
- ◆専門知識の修得。
- ◆公的責任、内容および治療リスクなどに対する保険に加入してください。

4.2 安全な操作

装置を操作するときは、施術室が清潔であることを確認してください。

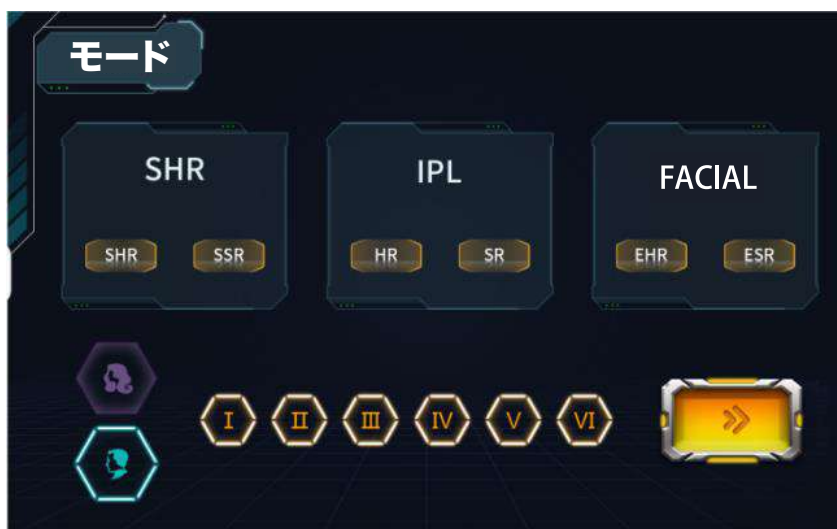
- ◆ 施術室の照明は、施術者が皮膚の反応を観察できる程度の明るさが必要です。
- ◆ 機械を使用している間は、反射するものを使用しないでください。
- ◆ 施術者は、治療前に十分な相談を行い、お客様の病気や症状について理解し、施術中および施術後の正常な反応を説明する必要があります。
- ◆ 施術者は、お客様と十分なカウンセリングを行い、施術しない部位には照射しないようにしましょう。
- ◆ 施術者は、治療に使用される特定の治療波長に適したゴーグルまたはメガネでクライアントの目を適切に保護してください。

4.3 検査

設置手順と要件に従って設置されていることを確認してください。水位が正常で、作業環境が適切であることを確認してください。

4.4 特定の機能

機能の異なる3つのモードがあります。





SHR

このモードは、主に顔脱毛やVIO脱毛以外の全身脱毛のために、使用できます。1~10連射まで選択可能で、比較的穏やかなエネルギーで広範囲に使用されます。全身脱毛の施術時間の短縮に効果的です。色素が薄い産毛や金髪までしっかり脱毛できます。



IPL

このモードは、主に男性のヒゲ脱毛や男女のVIO脱毛など毛の濃い箇所に使用します。狭範囲を対象とした単発治療の使用は、SHRモードより多くの熱エネルギーを使用し、その効果は顕著です。



FACIAL

このモードは、主に肌の若返りとリフトのために使用できます。IPLモードの若返り治療と組み合わせて使用すると、顔を持ち上げて引き締める事ができます。

4.5画面操作

機器の電源を入れると、次の操作画面が表示されます（図1）。



（図1）






(図2)

最初画面 (図1) をクリックして、3つの治療モード選択 (図2) の画面に入ります。

治療モードを選択し、性別と肌の色を設定し、 をクリックして次の操作画面に入ります。

4.5.1 SHRモード

SHRとSSRの2つのモードがあります。 お客様のニーズに応じていずれかを選択し、設定画面に入ります。

SHRを選択すると、(図3 または 図4) のような画面が表示されます。次に、体の部分を選択してから、 をクリックしてパラメータ設定画面 (図5) に入り、設定してから  をクリックして、 をクリックし、施術を開始します。



(図3)



(図4)



(図5)

SSRを選択すると、次の操作画面が表示されます(図6)。



(図6)



クリックすることでエネルギーを増減します。



パルス幅はここで調整できます。プラスまたはマイナス記号をクリックして調整します。



周波数(HZ)はここで調整できます。プラスまたはマイナス記号をクリックして調整します。



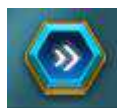
小さな三角形をクリックすると、ハンドルの冷却レベルが1から5が表示されます。数字をクリックして選択できます。

4.5.2IPLモード



ここでは、HRとSRの2つのモードがあります。お客様のニーズに応じていずれかを選択し、設定画面入ります。

HRを選択すると、（図7 または 図8）のような操作画面が表示されます。次に、体の部分を選択してから、



をクリックしてパラメータ設定画面（図9）に入り、



をクリックしてから、



をクリックして施術を開始します。



(図7)



(図8)

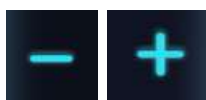


(図9)

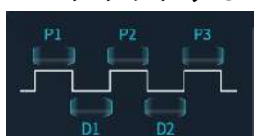
SRを選択すると、次の画面（図10）が表示されます。



(図10)



をクリックすることでエネルギーを増減します。



パルス幅はここ
で調整できます。P1、P2、P3は、サブパルスのパルス幅を意味します。D1、D2はパルス遅延を意味します。そしてパルス
はサブパルスの数を意味します。スピード
はライト間の間隔を意味します。調整したいパラメータをクリックし、プラスま

たはマイナス記号
をクリックして調整します。



小さな三角形
をクリックすると、ハンドルの冷却レベル
が表示されます。数字をクリックして選択できます。

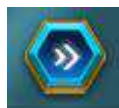


4.5.3 FACIAL モード



EHRとESRの2つのモードがあります。お客様のニーズに応じていずれかを選択し、設定画面に入ります。

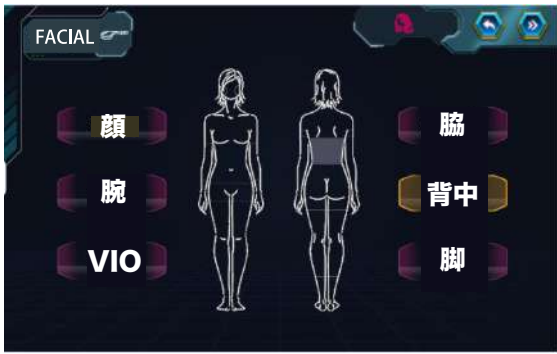
EHRを選択すると、(図11 または 図12) のような操作画面が表示されます。次に、体の部分を選択してから、



をクリックしてパラメータ設定画面 (図13) に入り、



をクリックしてから
をクリックし施術を開始します。



(図11)



(図12)



(図13)

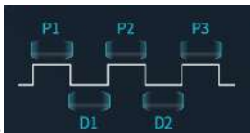
ESRを選択すると、次の操作画面が表示されます (図14)。





(図14)


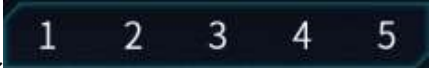


をクリックしてエネルギーを増減します。



パルス幅はここ で調整できます。P1、P2、P3は、サブパルスのパルス幅を意味します。D1、D2はパルス遅延を意味します。そしてパルス  はサブパルスの数を意味します。スピード  はライト間の間隔を意味します。調整したいパラメータをクリックし、プラスま

たはマイナス記号 をクリックして調整します。

小さな三角形 をクリックすると、ハンドルの冷却レベルが表示されます。数字をクリックして選択できます。

注意: すべての施術パラメータを設定した後、待機ボタンを押して照射準備モードに入ります。丸ボタンが黄色に変わります。準備ボタンを押すと、電源ボタンが緑色に変わります。



4.6 治療操作

ステップ1 施術の準備

- ◆お客様とのコミュニケーションを十分に行います。お客様のご要望、体調(ステロイド剤など薬品の使用の有無、日焼けの状態)を把握し、カウンセリングシートに記入します。
- ◆機器が正常に機能しているか確認し、治療前に照射面を清潔にしてください。
- ◆治療中は多少の痛みなどが感じられることをお客様に説明します。

ステップ2 肌をきれいにし、お客様にゴーグルもしくは目元にタオルなどを着用してください

- ◆施術エリアをタオルや生理食塩水で洗浄し、表面に化粧がないことを確認します。
- ◆施術エリアの毛を剃ります。できるだけ事前に剃ってご来店いただくようにしましょう。
- ◆お客様用のゴーグルもしくはタオル(目を覆えるもの)などを着用してもらいます。

ステップ3 マシンの電源を入れて、テスト照射を実行します

- ◆本機の電源を入れ、必要なモードを選択してパラメータを調整します。お客様に応じてパラメータを調整してください。パラメータを調整した後、地面に2~3回をテスト照射します(機器に照射パワーが溜まっている場合があるため)。
- ◆さまざまなお客様(肌の色の違いや毛の濃さ)に対して推奨されるパラメーター(出力設定数値)を記載した資料を別途ご提供いたします。

第5章-機械の操作

5.1 施術に関するお客様へのお知らせ

施術前

- ◆お客様とのコミュニケーションを十分に行い、お客様のニーズや体調を把握する。ステロイドを含むスキンケア製品などを使用していないか確認してください。
日焼けの状態など写真を撮り、顧客情報ファイルに記入してください。
- ◆機器が正常に機能しているかどうかを確認し、治療前に照射面を清潔にしてください。
- ◆治療中に多少痛みなどがあることを説明してください。

施術中

- ◆施術部位にジェルを均等に塗る必要があります。
- ◆施術者もお客様もメガネまたはゴーグルをかける必要があります。
- ◆ハンドルの照射面は肌にやさしく密着し、常に垂直に保ちます（皮膚に対して傾けると、エネルギーが表皮に集中しやすくなり、肌にダメージがかかる場合があります。）。
- ◆面積や治療項目に応じて、連射または単発を選択してください。連射は広面積の脱毛、単発は小面積の脱毛（男性のヒゲや男女のVIOなど）、肌の若返り、そばかす、ニキビなどにおすすめです。
- ◆施術中は、お客様の肌の反応に常に気を配り、治療パワーを調整してください。
- ◆施術過程でのお客様の痛みに対する感覚などを聞き、時間通りに施術を行います。

施術後

- ◆ボディークリームや化粧水などを用いて、適切にケアしてください。
- ◆治療後の注意事項を説明し、できれば、次回の治療日時の予約をしてください。
- ◆機器の電源を切り、お客様一人一人に合ったパラメータをカウンセリングシートなどに記録します。

5.2 施術後の注意事項

- ◆施術当日は施術エリアに熱湯（温浴）を使わず、シャワーで温水または冷水を使用してください。
- ◆1週間は温泉やサウナにいたり、施術部位をこすったりしないでください。
- ◆辛いなどは3日以内に食べないでください。
- ◆施術後、水を飲むようにしてください。ボディークリームなどは1週間継続して使用してください。
- ◆日焼けに注意してください：治療後、メラニンの代謝が促進されます、メラニンはより活性が高く、色素沈着を引き起こしやすくなります。
- ◆施術後にかさぶたがある場合は、色素沈着を防ぐため、かさぶたを無理矢理剥がしたりしないでください。
- ◆施術後に施術部位が赤くなった場合は、氷で冷やし、必要に応じてジェルなどを塗布してください。
- ◆炎症反応が起こった場合は、クリームなどの保湿ケア製品を塗って下さい。

5.3 施術中の症状

- ◆脱毛：産毛はやや熱く、縮れなどがあり、チクツとするような痛みがあります。

5.4治療できない対象

- ◆妊娠中および授乳中の方。
- ◆過去1週間以内に日焼けされた方。
- ◆施術部位に重大な怪我及び感染症のある方。
- ◆最近、光増感薬を服用したり、光にアレルギーのある方。
- ◆重度のケロイド体質の方。
- ◆上まぶたや唇への治療。
- ◆皮膚病(乾癬、白斑など)に苦しんでいる方。
- ◆てんかん患者、重度の心臓病患者、糖尿病患者、高血圧患者。
- ◆ステロイド剤をお使いの方は、1ヶ月間使用を中止してから施術してください。施術期間中はステロイド剤を使用できません。
- ◆1ヶ月以内にマイクロインジェクションを受けた方は、注射部位を避けてください。

第6章-IPL・SHR・フェイシャルマシンのメンテナンス

安全で信頼性の高い操作を保証するため、定期的なメンテナンスと適切なケアが非常に重要です。このセクションでは、施術者が行うべき機械の日常のおよびその他の定期的なメンテナンスについて説明します。

6.1 日常的な清掃方法

ハンドピースの外側は、湿らせた柔らかい布またはマイクロファイバーの布で定期的に清掃してください。中性洗剤やアルコールフリーのおしりふきを使用することもできます。施術後は定期的に照射面を清掃してください。



施術後に照射面に焼けた毛の炭素が蓄積する可能性があるため、週に1～3回、または必要に応じてクリーニングする必要があります。照射面には、常に汚れや付着物がないようにする必要があります。

6.2 漏電防止ボタンのテスト

この製品には、安全装置が装備されています。安全装置が有効かどうかを毎月テストする必要があります。安全装置のボタンを押し、作動している場合は問題がないことを意味します。



6.3 精製水の交換

水の交換の頻度は、稼働によって異なります。

- ◆機械が毎日稼働している場合は、1か月ごとに水を交換する必要があります。
- ◆機械が週に1～2回稼働する場合は、2.3か月ごとに水を交換する必要があります。
- ◆機械の使用の有無にかかわらず、精製水は年に1回交換する必要があります。
- ◆水を交換した後、5分間水を正常に循環させる必要があります。
- ◆施術室の温度が2℃未満の場合は、装置内のすべての精製水を排出し、新しい冷却水と交換する必要があります。

注意: Jenimoでは、精製水、脱イオン水、または純水のみを使用してください。飲料水や水道水は使用に適していません。水中の不純物が蓄積すると、機器の動作に影響を与え、修復不可能な損傷を引き起こし、保証が無効になるためです。

6.4 輸送、保管、移動

- ◆輸送は機器の損傷のリスクが高いため、最小限に抑えてください。
- ◆移動・保管の際は、元のパッケージを保管してご使用ください。
- ◆他の治療室に移動する場合は、移動する際に機器を水平に保ってください。
- ◆保管・使用の際は、衝撃、衝突、圧迫、振動などにご注意ください。また、使用するたびに機械をリセットし、防塵保管する必要があります。
- ◆長距離輸送の前に、水タンク内の精製水を排出してください。移動または保管するときは、元のパッケージを保管して使用してください。必要な場合を除いて、デバイスを動かさないでください。
- ◆機械の湿気が多い場所での使用を避けてください。機械の安全性を確保してください。
- ◆機械で照射をする前に、空冷および水冷システムが正常に機能していることを確認してください。
- ◆本機は20℃以上の温度の部屋に置き、6時間以上保管してからご使用ください。

6.5トラブルシューティングガイド

このセクションでは、マシンの最も基本的なトラブルシューティング手順の概要を説明します。

6.5.1マシンが起動しない

- ◆電源に電気が入っていること、取り付けプラグが両端にしっかりと差し込まれていること、ソケットのスイッチが入っていることを確認してください。
- ◆非常停止ボタンが元の位置に戻っていることを確認します。
- ◆キースイッチが正しい位置にあります。
- ◆ヒューズを点検し、必要に応じて交換します。

6.5.2機械を始動したときの水循環が異常である

- ◆水位を確認します。適切に循環するのに十分な水が内部にない場合は、自動的にシャットダウンします。
- ◆指示に従って内部の冷却水を交換します。

6.5.3 ハンドピースのボタンを押しても光が照射されません

- ◆本機が正しい動作状態にあることを確認してください。
- ◆ケーブルと接続プラグに損傷がないか確認してください。損傷している部品がある場合は、交換についてお問い合わせください。

6.5.4エネルギーが弱くなる、または光が出ない

- ◆照射口に不純物が付着すると光が遮られます。色素沈着、汚れ、ほこりなどがある場合は指示通りに清掃を行なってください。
- ◆機械が過熱した場合は、作業を停止し、30分間は機械を使用しないでください。
- ◆光学レンズに損傷がないか調べます。

お問い合わせ

株式会社JENIMO

住所: 本社 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-18-11 西田ビル

電話番号: 03-4446-7897

ウェブサイト: <https://jenimo-official.com>

Line公式: @814tjxxz

